

令和6年度

MFKsみらい塾

宗像・福津・古賀地域 未来の地域リーダー育成プログラム

活動報告書



主催：宗像・福津・古賀地域未来の地域リーダー育成プログラム実行委員会
後援：福岡県教育委員会

令和6年度MFKsみらい塾とは

MFKs（宗像・福津・古賀）地域の中中学生を対象に、将来さまざまな分野でリーダーとして活躍する「人財の育成」を目的として開催しました。

プログラムでは、さまざまな分野で活躍する講師による講義や体験から気づき「学び」を得るアドベンチャープログラム、グループワークなどを実施し、それぞれの夢や目標の実現に向けて、新たな発見をしながら他者と協力し、自ら課題を乗り越え、努力する人財の育成を目指しました。

1 主催

宗像・福津・古賀地域
未来の地域リーダー育成プログラム実行委員会
(宗像市、宗像市教育委員会、福津市、福津市教育委員会、古賀市、古賀市教育委員会、福岡県)

2 後援

福岡県教育委員会

3 開催日程・会場

令和6年8月10日（土）～8月12日（月・祝）
於・福岡県立少年自然の家「玄海の家」（宗像市神湊1276）

令和6年8月31日（土）～9月1日（日）
於・グローバルアリーナ（宗像市吉留46-1）

4 参加状況

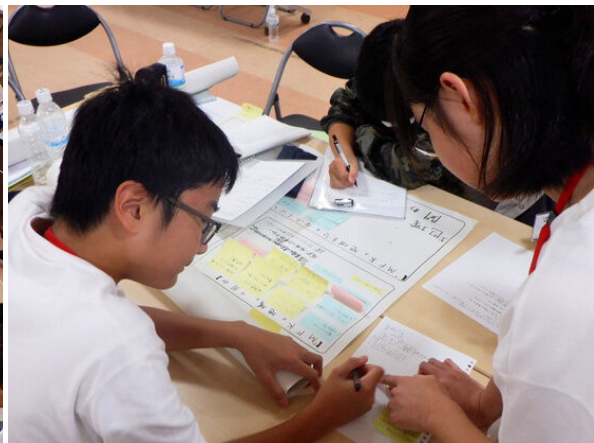
募集対象：宗像市・福津市・古賀市在住の中中学生
参加生徒数：26名

＼活動の様子はコチラ／

〈 本編 〉



〈 ショート版 〉



講師紹介

田辺 一城 氏 (古賀市長)

1980年5月16日生まれ、44歳。福岡県古賀市出身。花鶴小学校、古賀中学校、福岡高校、慶應義塾大学法学部法律学科を卒業。2003年、毎日新聞社に入社し、記者として8年間勤め、2011年から福岡県議会議員を2期8年務める。2018年に古賀市長に就任し、現在2期目（通算6年目）。全国の首長有志でつくる「活力ある地方を創る首長の会」事務局長。



川原 尚行 氏 (認定NPO法人ロシナンテス理事長)

1965年福岡県北九州市生まれ。1984年福岡県立小倉高等学校卒。高校、大学とラグビー部所属。1992年九州大学医学部を卒業後、九州大学第二外科（現：消化器・総合外科）に入局し同外科および広島赤十字・原爆病院で研修を行う。九州大学大学院修了ののち、1998年外務省入省。在タンザニア日本大使館に二等書記官兼医務官として着任。その後ロンドン大学（イギリス）で熱帯医学を履修し、2002年在スーダン日本大使館に一等書記官兼医務官として着任。2005年1月、外務省を辞職し同年4月よりスーダン国内での医療活動を開始。翌2006年5月、北九州市に「NPO法人ロシナンテス」を設立。同年8月スーダン共和国政府より国際NGOとして正式に登録される。



藤木 大地 氏 (音楽家)

宮崎市出身。東京藝術大学卒業。ウィーン国立音楽大学大学院（文化経営学研究所）修了。洗足学園音楽大学客員教授。みやざき大使。詳細は公式サイト (daichifujiki.com) をご参照ください。



(c)hiromasa

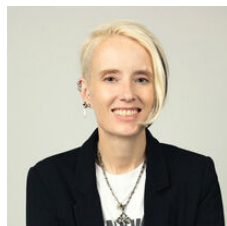
山口 覚 氏 (津屋崎ランチLLP代表)

1993年九州芸術工科大学環境設計学科卒。同年鹿島建設建築設計本部ランドスケープデザイン部に入社。1999年財団法人国土技術研究センターへ出向。過疎地や離島の仕事を通じて「対話と合意形成」に関心を持つ。2009年福岡県福津市津屋崎に移住し創造的交流拠点「津屋崎ランチ」を開設。古民家再生、移住者支援、起業家育成などを行いつつ、全国への対話の普及活動を行う。後述すべて現職。2010年LOCAL&DESIGN 株式会社代表取締役。2011年津屋崎ランチLLP 代表。2018年慶應義塾大学大学院政策・メディア研究所 特任教授。2020年一般社団法人まち家族代表理事。2021年学校法人東明館中学校・高等学校理事。2023年福岡女子商業高校コミュニケーショントレーナー。



クレシーニ アン 氏 (北九州市立大学基盤教育センターひびきの分室准教授)

アメリカ合衆国バージニア州出身。応用言語学修士課程。日本在住歴24年。北九州市立大学准教授。専門は外来語と和製英語。福岡を中心にテレビ、ラジオ、執筆、講演会などの活動をしている。むなかた応援大使。2023年日本国籍取得。



古田 厚子 氏 (株式会社ASPREAD 代表取締役)

27年間メディア業界の第一線で活躍する現役タレント。人材派遣会社の代表、一児の母でもある。また大学の非常勤講師や大手企業研修、古賀市キッズキャリア教育など延べ7000人の幅広い人材教育に従事。全国にクライアントを持つ。



コーディネーター紹介

深山 翔平 氏 (一般社団法人TJC教育サポート 理事長)

福岡県久留米市出身。教育学、特別支援教育を専攻。世界一周、小学校教員を経て、子ども・保護者・企業を「教育の力」でサポートし、全ての人がよりよい人間関係をつくり、よりよく過ごすことが出来るように、2019年に一般社団法人TJC教育サポートを創設。子どもたちには自然体験キャンプやマナーキャンプなど様々なコンセプトの体験活動を提供。オンラインでは子ども向けにリーダーシップ教育や目標達成メソッドを教える講座だけでなく、保護者向けの自立教育プログラム「家庭教育の学校」を主宰し、全国から100名以上の参加者が集まっている。また、企業向けの人財コンサルタントとしても研修・コンサルティングを行い、社員が自ら動く「自立型組織」の構築に多数貢献している。



活動報告

1日目

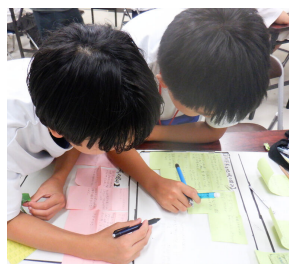
「MFKs みらい塾」がスタート。

参加生徒は緊張した面持ちで会場の玄海の家に入っていました。

開講式では、本プログラム実行委員会の龍会長（福岡県青少年育成課企画監）から激励を受けました。その後、田辺 一城 氏（古賀市長）から「社会をリードする覚悟と責任」をテーマに講義をいただきました。講義では、「（ものごとを判断する際は）自分自身がどう評価されるかを考えると、よい決断はできない」や「リーダーの役割は「社会の調和」を図ること」といったことなどを教えていただきました。また、講義中に、新聞記事から興味ある記事を各参加生徒が探し出すワークがあり、各々興味がある記事を真剣に探す姿が見られました。



午後からは、オリエンテーションで「仲間づくり」・「PM理論」を学び、グループワークを行いました。グループワークでは、①理想とする地域の強み・課題を見つける、②グループ内での目指す地域像を決める、③そうなるための「強み」「できること」を1つに絞る、④自分たちにどんなことができるか 具体的に考えていく、以上の4点をグループ内で決めていき、最終日の発表までに完成させていくことになりました。



Schedule	
9:00 ~	開講式
9:30 ~	講義
12:00 ~	昼食
13:40 ~	オリエンテーション
16:00 ~	グループワーク
18:00 ~	夕食
19:00 ~	グループワーク
21:00 ~	就寝

2日目

午前、川原 尚行 氏（認定NPO法人ロシナンテス理事長）から「枠を超える！～スーダン内戦を経験して～」をテーマに講義いただきました。

講義では、自らの経験をもとに「（自らが解決できそうな状況にない）困難なことがあっても、自分で道を開いていくことができる。諦めないで、考えて、行動していこう！」と参加生徒に強く語りかけました。講義後のグループワークでは、解決方法や困難な状況を乗り越える方法について、「諦めずに様々な方法を考える姿勢」や「考えて行動することが大事」などの意見が各グループで出されていました。



午後からは、アドベンチャープログラムがあり、各グループに分かれ、そこで与えられた課題を解決するために、議論を進めていく中で、自分の意見を積極的に発言する様子が見られました。

グループワークでは、1日目の内容に加えて、川原氏の講義、アドベンチャープログラムを通じた内容をもとにリーダーシップとは何かをグループで考え、最終日の発表に向けた課題を進めていました。



Schedule	
6:30 ~	起床・朝食
9:00 ~	講義
11:10 ~	グループワーク
12:00 ~	昼食
13:00 ~	アドベンチャープログラム
16:30 ~	グループワーク
18:00 ~	夕食
19:00 ~	グループワーク
21:00 ~	就寝

3日目

午前は、藤木 大地 氏 (音楽家)から「わたしの10ヵ年計画」をテーマに講義いただきました。

事前に将来やりたいことのための計画を具体的に立てる課題を出され、その課題を参加生徒みんなの前で発表することを行いました。



午後は、山口 寛 氏 (津屋崎ランチLLP代表)から「誰とでも『見る・聴く・話す』にチャレンジ」をテーマに、トークフォークダンスを行いました。参加生徒のみならず、スタッフ全員が輪になって、制限時間の中で山口氏から出される話題を向かい合った相手と自由に話す内容でした。グループワークでは、1日目から3日目の内容をもとに、発表に向け各グループで内容をまとめました。

Schedule

6:30 ~ 起床・朝食
9:00 ~ 講義
11:10 ~ グループワーク
12:00 ~ 昼食
13:40 ~ 講義
15:40 ~ グループワーク
17:00 ~ 解散



4日目

Schedule

8:30 ~ 講義
11:00 ~ 講義
13:00 ~ 昼食
14:10 ~ グループワーク
18:00 ~ 夕食
19:00 ~ グループワーク
21:30 ~ 就寝



午前は、2名による講義がありました。1人目は、クレシーニ アン 氏(北九州市立大学基盤教育センターひびきの分室准教授)から「グローバル化と日本社会～みんなちがって、みんないい～」をテーマに、また2人目は古田 厚子 氏 (株式会社A S P R E A D 代表取締役)から「自己理解を深める『コミュニケーション学』」をテーマに講義いただきました。

クレシーニ アン 氏の講義では、日本国籍を取得した時の状況を当時の心情を交えてお話いただき、日本社会で発生しているジレンマを参加生徒に考えさせる内容でした。また、古田 厚子 氏の講義では、目線誘導・声の強弱を交えるなど話す、伝えるための要素を講義いただき、聞き手に伝える話し方を模擬原稿を使い、アナウンサーになったつもりで読む実践を行いました。

午後からのグループワークでは、翌日のグループ・個人発表に向け、就寝時間ギリギリまで各グループ、発表内容をまとめていました。

5日目

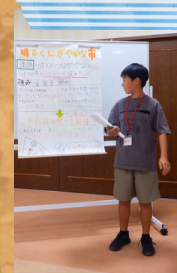


最終日はこの5日間での講義・体験活動を通して学んだことをもとに考察し、模造紙を使って「ふるさとの未来の姿」をグループ発表しました。また、このプログラムで経験したこと、これから自分たちができることを個人発表しました。見学に来ていた保護者の方々、関係者から発表内容について質問を受けた参加生徒は、自分たちの言葉で丁寧に答えるなど、活気のあるグループ発表となりました。

発表終了後、閉講式を行いました。原崎福津市長から労いの言葉とともに参加生徒に修了証書の授与があり、伊豆宗像市長から開催地代表挨拶がありました。参加生徒は仲間との別れを惜しみつつ、出会えたことへの感謝とともに解散しました。

Schedule

- 7:00 ～ 起床、朝食
- 9:00 ～ グループワーク研修
- 11:10 ～ グループ発表準備
- 12:00 ～ 昼食
- 13:00 ～ グループ・個人発表
- 14:30 ～ 閉講式
- 16:00 ～ 解散



アンケート結果

参加生徒がプログラムを通してどのような力を向上させることができたかを把握するため、以下の通りアンケートを実施しました。

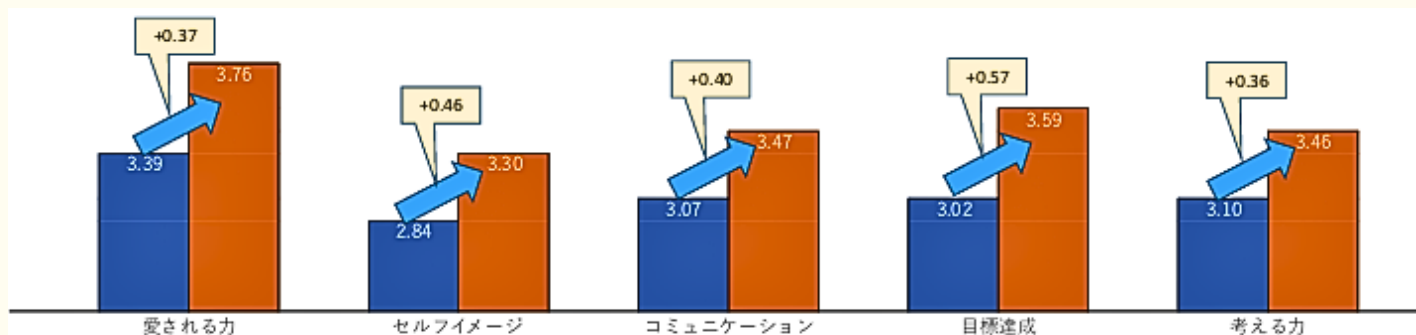
アンケートの実施方法

- プログラムの初日と最終日に、同様の質問に回答してもらった。
- 5項目（愛される力、セルフイメージ、コミュニケーション、目標達成、考える力）について、参加前後で向上するかどうか調べた。
- 1つの項目に対し、4つの質問で構成し、1～4の4段階で評価

質問例

①愛される力	何かしてもらったらすぐに「ありがとう」と感謝の言葉を伝える
②セルフイメージ	自分の長所や強みについてよく分かっている
③コミュニケーション	話を聞くときは、目を見て聞き、意識してうなずいて聞いている
④目標達成	自分では難しいことは、積極的に誰かに頼ることができる
⑤考える力	新しい企画やアイデアを生み出すことが好きだ

アンケート結果



参加生徒の声



今回のプログラムでは普段会えないような人と会えたり、他校の人と会えてよい経験になりました。



お互い何も知らなくてもコミュニケーションや会話を通して理解し合うことができることを学びました。私は比較的自分から話しかけないタイプだけど、今回のプログラムで“話す”ことはこれからの自分の未来や地域の未来に必要なと気づきました。話さなかったら何も知ることができないので、これからは自分から積極的に話しかけようと思いました。



リーダーとしてどうあるべきか、どのように行動したらいいかを学べた。



今までは自分では人前で話したり、みんなを引っ張っていくのが苦手で、リーダーには向いてないと思っていたけど、みんなを遠くから見守るなど様々な種類があることをPM理論で知り、印象に残りました。



自分自身がどう評価されるかを考えると、よい決断はできないとの言葉に1番グッときました。



今回のプログラムでは自分はあまり発言できるタイプじゃなかったけど、講師の方の教えや班員と一緒に過ごすうちに勇気もついてきて、自信もついたいい機会になりました。

宗像・福津・古賀地域
未来の地域リーダー育成プログラム実行委員会
(宗像市、宗像市教育委員会、福津市、福津市教育委員会、古賀市、古賀市教育委員会、福岡県)

問合せ先
宗像・福津・古賀地域
未来の地域リーダー育成プログラム実行委員会事務局
(福岡県青少年育成課内)
住所 〒812 - 8577 福岡市博多区東公園 7 番 7 号
TEL 092 - 643 - 3402 (平日9:00~17:00)
Mail ikusei02@pref.fukuoka.lg.jp

